

週日の説教

金 大烈 神父 2011年7月29日(金)

《イエス様を信じ、イエス様を愛すること》

マルタとマリアの話はあまりにも有名でよく話される内容です。もう一つ紹介されている今日の福音(ルカ 10・38-42)では、イエス様をもてなす二人の姉妹の心理的な違いについて説明されていることを、皆様はよくご存知だと思います。今日の福音(ヨハネ 11・19-27)はラザロが死んで、それがためにイエス様がこの姉妹を訪れた時の話しです。(今日の福音はヨハネまたはルカと二つの福音が出ています)

さあ、今日読まなかった福音(ルカ)の箇所には、マリアがイエス様のそばにいてお姉さんがもてなしするために忙しく動いているのに全然手伝ってくれない様子が話されています。そしてそれに腹を立てたマルタの話が出ます。けれども今日は、イエス様が来たというのにマリアは家から出なかった。しかしマルタはイエス様を出迎えた。この様子を見たら二人の性格がはっきり現れていると思います。皆様は、特に女性の方はどちらに自分は似ていると思いますか。マルタでしょうか、マリアでしょうか。マルタはいわゆるいいお姉さん。弟や妹のために何でも世話する長女のようなタイプでしょう。いつも家族のために、何かのために、犠牲を払いながらも犠牲だとは思わないで働く、いいお姉さんの感じですね。マリアは甘えん坊でよくすねて、自分の事ばかり考えるようなイメージです。しかし褒められたのはマリアのほうでしたね。このマリアは欲張りだけれども、その欲をいい方に出したことで褒められています。

皆様はどのように思われますか。どちらに近いのでしょうか。多分どちらに似ているかすぐに答えられると思います。私が皆様に申し上げたいのは、それぞれの性格はしょうがないということです。生まれつきの性格、環境によって作られた性格、それは一夜にして治せるものではありません。

結論としては、この二人はイエス様に愛された人たちでした。そして何よりも一番大事なことは、この二人はイエス様の全てを信じたことです。二人の性格はそれぞれに違いがあったかも知れませんが、この二人が見せた同じことはイエス様を信じ、イエス様を愛したことです。

今日の第一朗読(1ヨハネ 4・7-16)で『神は愛です。愛にとどまる人は、神の内にとどまり、神もその人の内にとどまってください。』とありますね。皆様が、どんなに足りなくて乏しい性格を持っていたとしても、皆様がイエス様に持っている愛情が正しいものであれば、色々な不足な部分は問題にならないと私たちは習うべきではないかと思います。そういう面で他の人の足りないところを責めないようにお願いします。

私たちが「神様、あなたを愛しています。このような弱さがあるにもかかわらず私がこのようにあなたを愛しているのは真実です。」という告白が出来れば、私たちは愛される者になれます。そして私がいかに好きでないその人も、同じことでイエス様にたっぷり愛されているのかも知れません。そう

いう意味で広い心で、寛大な心で信仰の生活していただきたいと思います。

本当に皆様、表面的に現れる指差しはどうか乗り越えられます。しかし、心にある憎しみによって疎まれる人がいれば、その人は本当に痛みの内にいることになります。ですから、出来るだけ私によって傷を受けて悩んでいる人がいないように、いつも気をつけなくてははいけません。そのために一番大事なことはこの短い舌、この口から出る言葉にいつも気をつけましょう。二番目は視線。この目です。この二つだけでも私たちが気をつければよい結果が出ると思います。

今、日本だけではなく、どの国でも自然災害が起こり大変なことになっています。又、数日前にはノールウェイで、ある一人の人によって沢山の人が殺され、中国では偉大な国だと見せるために、手順を踏まないで作られたモノレールが事故を起こしてしまいました。一番気になるのはイエス様がどのような気持でこの世の中を見ていらっしゃるかです。

韓国も洪水に襲われましたが、その洪水で被害にあったところは、韓国では一番安全で立派な家が建っているところ、都市計画によって設計された町、色々な条件が備えられている都市です。そこは一般人の憧れの都市です。そして、韓国でも素晴らしい環境的にもいい所にある別荘も被害に遭いました。

今、全世界のあちこちで自然災害が起こっています。ある人は神様が何故このような試練をくださるのでしょうかと訴えるかも知れません。しかし、私は 99 パーセント人間の欲によって起こった結果ではないかと思います。人間がありのままを、神様からいただいた全てのことを感謝する心を持たずに、いつも欲を出して他の人を踏みつけながら立とうとする心によって、このような悲惨なことが起きるのではないかと思います。

皆様そういう意味で私たちは ^{へりくだ}謙る心で、全体を見る目が必要ではないかと思います。とにかく犠牲された全ての靈魂のためにも祈りましょう。

ありがとうございました。